

危険業務従事者叙勲

政府は昨年10月10日、第25回危険業務従事者叙勲受章者を発表しました。

非常に危険性の高い業務に精励した人に勲章が授与されました。

消防功労 元両磐地区消防組合消防監
瑞宝双光章 **阿部 稔さん** あべ・みのる 70 花泉町涌津

1967年に花泉町消防団常備部に入団。一関消防署長などを歴任し、2005年に市消防本部警防課長で退職するまでの38年間、火災予防や遭難者救助に尽力しました。



長年の消防士生活の中で、やりがいを実感したのは「火災の現場などで人を助けることができたとき」。救助者からかけられた「ありがとう」の一言が心に響いたといいます。

今回の受章については「光栄なこと。同僚の協力や家族の理解があってこの仕事を続けられました」と感謝しています。

防衛功労 元一等陸尉
瑞宝双光章 **吉田 泰夫さん** よした・やすお 61 東山町長坂

奥玉中学校卒業後、陸上自衛隊少年工科学校に入校。1975年から退職する2009年まで、岩手駐屯地、仙台駐屯地、旭川駐屯地などで任務に当たりました。



森林火災や地震などの災害時には主に本部で関係機関とのやり取りや人員の配置などを行いました。

「災害はいつ起こるか分からず、訓練と同じ状況にはならない。各現場に合わせて対応するのが大変だった」と当時を振り返ります。

受章については、「家族、同僚や地域の人々が支えてくれた」と話していました。

消防功労 元市消防団分団長
瑞宝単光章 **鈴木 孝雄さん** すずき・たかお 75 山目

地元の消防団からの勧めで、1961年に旧一関市消防団に入団。2003年から2年間、分団長を務め、07年に退団するまで地域の防犯、防災に力を尽くしました。



「すぐさま出動できるように準備を怠らないことを心掛けていた」という鈴木さん。特に分団長に就任した際には「信頼される団員として活動すること」をモットーに日々の職務にあたりました。

今回の受章については、「先輩、同僚、後輩の皆さんのおかげ。家族の支えもあって長い間務められた」と感謝しています。

業務精励(金融業) 元一関信用金庫理事長
黄綬褒章 **小野寺 勝宏さん** おのでら・かつひろ 73 山目

1962年に一関信用金庫入り。支店勤務を経て2004年常務理事、07年から12年まで理事長を務めました。職員として41年、役員として9年、半世紀にわたって地元金融機関の一員として地域経済に関わってきました。



「お客さまとの信頼関係を築くため、対話を大切にしたい」と話し「融資の難しい相談にも誠意をもって対応した。答えられたときはうれしかった」と懐かしみます。

今回の受章について「先輩の指導、同僚の協力、後輩の支援、妻の支えのおかげ」と感謝しています。

社会奉仕活動功績 地域交流支援活動奉仕団体
緑綬褒章 **一関世代にかける橋** 橋本真由美代表 45 はしもと・まゆみ

1966年に市内の青年有志が中心となって発足。半世紀にわたり、地域の子供たちの健全育成と世代間交流を促進するボランティア活動に取り組んできました。現在は山目市民センターを拠点に県内外の約30人が所属。復興を願う「100万人のキャンドルナイト」など青年が中心となり、子供・青年・障がいを持つ人達との交流支援活動を行っています。



87年に入会した橋本真由美代表は「ボランティアは特別なことではありません。近年は地元高校生が楽しみながら奉仕活動を体感している。若い世代に継承し、活動を発展させたいです」と意気込みました。

看護業務功労 元県立花巻厚生病院総看護婦長
瑞宝単光章 **伊藤 ミサ子さん** いたう・みさこ 83 秋荘

1952年から県立高田病院(旧気仙郡南病院)で看護師として勤務。91年に退職するまで、胆沢病院、南光病院、沼宮内病院や花巻厚生病院など各地域の医療現場を支えました。



「重症の患者さんが元気になって退院していくときがうれしかった」と看護師時代を振り返ります。退職後は、市内の福祉作業所「なのはな工房」の立ち上げに関わるなど福祉の分野でも活躍しました。

受章については「周りの人の協力や援助が実を結びました」と家族や同僚に感謝しています。

消防功労 元市消防団分団長
瑞宝単光章 **阿部 堅治さん** あべ・けんじ 76 厳美町

「地域を火災や災害から守りたい」と消防団への入団を決意。1967年から2013年まで約45年間、火災予防などの現場で活動しました。09年から13年までは、分団長として団を統率。「火災予防を徹底すること」を信念に、日々の任務にあたりました。



厳美町の分団では、栗駒山での山岳事故の出動も。さまざまな事故に対応するため「常に危機管理に力を入れた」と話します。

今回の受章について「感無量。家族、特に妻の支えがあったこと」と家族をねぎらいました。

消防功労 元市消防団分団長
瑞宝単光章 **及川 吉治さん** おいかわ・きちじ 75 大東町猿沢

1962年、大東町消防団に入団した及川さん。2003年から分団長、06年から退団する08年までの2年間は市消防団大東地域本部長を務めるなど、強いリーダーシップを発揮。約47年間、地域の防火や防犯に力を尽くしました。



本部長を務めた2年間は、大好きな晩酌も控えて「いつでも出動できるよう備えた」と振り返ります。

受章にあたり「地域の皆さんが支えてくれたおかげ。これから恩返しをしていきたい」と話し、「家族の協力があってのこと」と深い感謝を示しています。

秋の叙勲と褒章

政府は昨年11月3日、秋の叙勲受章者を発表しました。国家または公共に対して功労のある人に、勲章が授与されました。

また、政府は昨年11月2日、秋の褒章受章者を発表しました。社会の各分野における優れた行いや業績のある人や団体に褒章が授与されました。

地方自治功労 元一関市議会議員
旭日双光章 **小野寺 明さん** おのでら・あきら 79 滝沢

1983年12月、旧一関市議会議員選挙に立候補し、初当選。以来4期16年にわたり地方自治の振興に力を尽くしました。この間、議会運営委員会委員長、産業経済常任委員会委員長、両磐地区消防組合議会議長などを歴任しました。



地元の上水道、国道、市道や学校などの施設整備にも尽力。「地域をくまなく歩き、課題解決に向けて住民の声を聞いた」と振り返ります。

今回の受章について「私のような者が受章することに恐縮している。支えてくれた支持者の皆さんや地域の皆さんのおかげ」と感謝しています。

教育功労 元公立高校校長
瑞宝小綬章 **小野寺 誠四郎さん** おのでら・せいしろう 74 久保

1965年に県立高校教員として葛巻高校に赴任。2003年に藤沢高校校長で退職するまで、38年間にわたって県内各高校で教壇に立ちました。



教科は生物を担当。進学率向上に力を入れたほか、実験や観察など「現場主義の授業」を心掛けました。

また、遠野高校では写真部の顧問に。自身も本格的に撮影を始め、現在も一関カメラクラブの会長として、地域の営みなどを記録し続けています。

受章を「思いがけないこと」と驚きながらも、「妻や生徒、同僚や地域の皆さんのおかげ」と感謝しています。